

こむぎ通信

令和7年3号

収穫は、早いところで7月上旬頃からとなる見込みです。
コンバイン等の清掃と整備を行い、適期収穫しましょう！

1 生育状況（6月10日現在）

地点	年次	6月10日調査			品種：ネバリゴシ 生育ステージ（月/日）	
		稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	出穂期	開花期
相坂 (県生育観測ほ)	本年	89.0	9.4	624	5/18	5/28
	平年	-	-	-	5/20	5/27
	前年	80.0	8.4	811	5/12	5/19
赤沼 (地区生育観測ほ)	本年	73.7	8.6	436	5/21	5/30
	平年	-	-	-	5/21	5/27
	前年	92.2	8.4	680	5/10	5/18

※平年値は、相坂が平成23年～令和6年産、赤沼が平成19年～令和6年産の平均値

- (1) 県生育観測ほは、前年より稈長、穂長は長く、㎡当たり穂数は少なかった。
- (2) 地区生育観測ほは、前年より稈長は短く、穂長は同等、㎡当たり穂数は少なかった。
- (3) 県生育観測ほの出穂期は、平年より2日早い5月18日で、開花期は平年より1日遅い5月28日であった。
- (4) 地区生育観測ほの出穂期は、平年並の5月21日で、開花期は平年より3日遅い5月30日であった。
- (5) 県・地区生育観測ほとも、うどんこ病の発生が見られる。

2 収穫の目安

収穫適期は、出穂後の積算気温で830～950℃、出穂後の日数で51～55日が目安となり、出穂期から予測される刈取時期は、5月18日に収穫したほ場が7月7～13日頃、5月25日に収穫したほ場が7月11～17日頃と予想される。

表-2 出穂日から積算した収穫適期

出穂期	積算気温830℃～950℃到達日
5月18日	7月7日～7月13日
5月20日	7月8日～7月14日
5月22日	7月10日～7月16日
5月25日	7月11日～7月17日

注：出穂後積算気温は、6月10日までは本年値、11日以降は平年値で積算（十和田アメダス）

3 収穫・乾燥の注意点

(1) 収穫

- ① 収穫が早すぎると未熟粒が多くなり、遅すぎると黒かび病や穂発芽の発生により著しく品質が低下するため、適期に収穫する。
- ② 倒伏した小麦は、品質のばらつきが生じるほか、穂発芽になっている可能性が高く、別の小麦の品質を落とすので、混合させないように仕分けを行う。

(2) 乾燥

収穫後に長時間放置すると熱損粒や異臭麦の発生原因となり、品質低下を招くため、収穫後4時間以内に乾燥機に入れる。また、搬入後の速やかな乾燥のため、適正な子実水分での収穫に努める。